学校・地域の概要

(1) 名称と所在地

宮城県登米市立津山小学校

〒９８６－０４０２　宮城県登米市津山町横山字本町９１番地

TEL　０２２５－６９－２２１０　　FAX　０２２５－６９－２１１３

(2) 地域の概要

本校は，宮城県の東北端，登米市の南東端に位置している。地勢は北上山地に属し，山紫水明，豊かな自然に恵まれた地区である。

歴史的にみると，横山地区は，藩政時代の南沢村と北沢村が明治８年の合併で横山村となり，昭和 29 年に柳津町と合併して津山町となった。平成１７年４月１日には，合併により従来の本吉郡津山町から登米市津山町へと行政組織が変更となった。さらに横山地区は，保元元年（1156 年）百済から水戸辺に着岸した弘法大師作の御尊像をお祀りしたと伝えられる横山不動尊（「木造不動明王坐像」国指定重要文化財，天然記念物うぐいの生息地，「青銅五重の塔」県指定重要文化財，南三陸金華山国定公園）をはじめ，大阪築城の際，金を掘り出したといわれる旧抗跡や仙台藩主伊達政宗の弟伊達小次郎の墓等がある。

柳津地区には，奥州藤原氏が保護した虚空蔵尊をはじめとする文化財や史跡も多く残っているが，北上川の流露改修工事（大正元年着工，昭和６年竣工）により，２０年の長期にわたる大工事やそれに伴う本町地区への全域移転（大正９年３００戸）が柳津地区に与えた影響は大きかった。当時の人々の辛苦は大きく，この事業は現在にまで陰に陽に本地域に影響を及ぼしている。

本地域の産業は，農林業・製材業・木工業・土木建設業などがあげられる。特に，杉の間伐材を利用した木工芸品を特産とする木工芸の里づくりに特徴がある。一方，ＪＲ気仙沼線，国道４５号線，国道３４２号線が交差する交通網の整備，三陸自動車道桃生津山インターの開通に伴い他町・市への通勤者が逐次増加している。

平成２７年に示された登米市立小中学校再編基本方針により，津山町内あった横山小学校と柳津小学校は，令和５年度に統合となり津山小学校となった。広い学区の影響から，児童数の３分の２以上がスクールバスで通学している。

(3) 校歌

朝日輝く　緑に揺れ
希望豊かに　北上川
明るく元気に真直ぐに
津山杉のように
笑顔あふれる　津山小学校

平和歌う　幸せを
花咲く未来へ　継ぐ想い
蒼空の夢へと逞しく
あの狗鷲のように
笑顔あふれる　津山小学校

笑顔こぼれる　津山小学校

（令和４年１２月津山地域開校準備委員会にて制定）

(4) 校章

外を囲む３つの輪は，北上川を，葉は柳を，横にのびる三角は山々を表し，統合する柳津小学校と横山小学校の校章をモチーフにしている。「小」の字はイヌワシをデザインし，山々から湧く水が川へとつながるイメージとしている。

（令和４年８月津山地域開校準備委員会にて制定）